

あじさい

Vol. **16**

〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel.(078)351-0657(代表) <http://www.kobe-kango.ac.jp/>

2019年度 あじさい祭

8階 BLS(1次救命処置) 講演

あなたの愛する人を救うために

1日講演限り **14時～**救命の第一歩を!

ようこそ 神戸看護専門学校 あじさい祭

神戸市民間病院協会 神戸看護専門学校

ようこそ あじさい祭へ

参加者による救命処置体験

スピーチラウンジ

HAND THERAPY

ハンドセラピー

キッズスペース



発表を終えて 3年生



3年 瀧川 綾

私は3年間の学習で看護について自問してきました。その中で、看護を考えその人と向き合うことは「自分に還る」ことであると学びました。その人のQOL向上のために本当に必要な看護を考えるとき、自分自身と対峙することになります。加えて、そのプロセスにおいて「自分自身を信じる」こ

とが重要であると学びました。苦痛や苦悩があるその人が、乗り越えられる力があると信じ支えることも、自分を信じることでありたいと思います。課題として知識と技術はもちろんです。俯瞰力を高めて看護の精度を上げたいと思います。3年間の学びは人間的にも成長させてもらえたと感じています。これから真摯に向き合う姿勢を忘れず、成長していきたいです。



3年 川本 麻香

ケーススタディーの発表は3年間の実習を振り返り、自分自身の看護観を見つめ直す機会となりました。私は基礎看護学実習を終え、家族も含めその人を見ていくことを大切にしていきたいと思うようになりました。ケースをまとめ、それぞれの発表を聞くことで、改めて家族と患者さんの心の

健康は繋がりにあること、家族も患者さんの一部であると捉える重要性を感じました。3年間の座学、実習は臨床に出て看護を実践していく基礎であり、実習で向き合った患者さんとの時間はかけがえのないものとなりました。4月からは病態等の基礎の勉強を怠らず、自分の看護観を大切にしながら、患者さんのことを第一に考えた看護を実践できるよう頑張っていきたいです。



聴講をして 2年生

2年 浅見 佳乃

今回、ケーススタディを聴講し、個別性のある看護に対しての考えが広まりました。必要な看護を考えるにはその人についてよく知ることが大切であると改めて気付かされ、私の考えの中にはなかった様々な個性のある看護を多く学ぶことができました。来年の今頃、私も先輩方のような発表ができるのかという不安と、沢山の経験と学びから得たものを発表できるようにするという期待もあります。更に先輩方のような看護学生となれるよう成長していきたいと思っています。



2年 櫻井 秀徳

ケーススタディを傾聴し、改めて看護の難しさを知りました。発表では、患者さんの思いを多角的に捉え、援助をしていくことの重要性を学びました。また、発表も具体的な根拠があり、論理的で分かりやすかったです。それに対しての質問も鋭く、実習を経験すると看護に対する考え方にここまで差が出てくるのかと感じました。私も今後の実習ではより一層精進していきたいと思っています。



1年生 基礎看護学実習I-2 プレゼンテーション

1年 黒田 恵

私達は基礎看護学実習I-2を終えました。療養環境やコミュニケーションの重要性・個別性に合う看護等が事は多く、実習グループで情報を共有し授業では得られない学びを得ることが出来ました。行われている看護は全てにおいて目的と根拠に基づいていると気付けたことは、私たちの価値ある知となりました。

次の基礎看護学実習IIは「看護過程の展開」を行います。看護計画の立案に不安はありますが、前回の学びを活かし基礎能力獲得に臨みます。

1年 平井 ゆま

私は基礎看護学実習Iを通し、看護の視点を持って患者さんの療養環境を整える事を学びました。

また、ギャラリーで他グループの発表を聞き、療養環境は患者さんの個性に合わせて整える事が必要だと学びを深める事が出来ました。次の基礎看護学実習IIでは、初めての3週間の実習、そして実際に患者さんを受け持たせて頂きます。不安もたくさんありますが、Iでの学びを活かし基礎看護学実習IIも頑張りたいと思います。



成人看護技術論 演習 2年生



2年 橋本 里沙

胃がん患者の事例を初めて読んだときは術後の患者がどのような状態なのか想像するのが難しかったですが、参考書を借りたり、教科書を読み直したり、グループメンバーと協力しながら演習に向けて準備していきました。当日は、実際の術後の患者に限りなく近いモデル人形が準備されていて、改めて術後の患者はこんなにも多くの管に繋がれているんだな、と実感すると共に緊張感の増す思いで演習に臨むことができました。大変りのある時間となりました。今回の成人看護技術論で学んだことを、次の実習へ繋げたいと思います。

2年 福井 美穂

成人看護技術論の授業では、糖尿病の患者さんへの指導を学ぶ場として、事例を元に指導を行う演習がありました。授業でどのような指導が必要かを話し合い、指導案を考え、ロールプレイを行いました。患者役、看護師役、観察役と全てを経験することで自分とは違った視点での指導を他者から学び、さらに良いものへと繋げていけるとも貴重な経験でした。忠実に再現された環境で必要な指導を時間内に終わらせるという緊迫した空気の中、学生同士とわかっていても緊張で予定通りには話せませんでした。これから始まる慢性期の実習では、この演習を振り返り患者さんに適した指導ができるようにしたいです。

教育理念・教育目的・教育目標

教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがえのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



今年度の卒業証書授与式は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により式典を取りやめ、3月6日に縮小して実施しました。例年とは違い2か所の教室に分かれマスクを着用した状態で卒業証書授与と学校長挨拶卒業生答辞のみを行いました。中止も危ぶまれましたが、最後に卒業生の元気な顔を見ることができ教職員共々嬉しく感じています。一生忘れることのない卒業式になったのではないのでしょうか。4月から看護師として活躍してください。



卒業証書授与式



2020年度 年間予定表

行事		行事		
4月	入学式 就職説明会 講演会 健康診断 防火訓練	9月	学生間交流会(全学年) あじさい式(宣誓式) 防災訓練 ピブリオバトル大会	
	学生間交流会(全学年) 新入生歓迎会 学外研修(全学年)		11月	推薦・社会人入学試験
	5月	卒業生カムバックデー	12月	解剖見学(1年生) 学生間交流会(全学年) ケーススタディーの発表
	6月	芸術鑑賞(1年生)	1月	一般入学試験(一次)
	7月	あじさい祭	2月	一般入学試験(二次)
8月	オープンキャンパス	3月	講演会 卒業前看護技術演習 卒業証書授与式 入学前説明会	

発行日 令和2年3月31日
発行所 公益社団法人神戸市民間病院協会
発行責任者 大西 安代
印刷所 有限会社 河里盛広館

編集後記

令和の意味である、人と人が手を携えて明日への希望を開花させる、まさに、そのような学生を育成していきたいと考えています。当校では、主体的に学生が学び人と人との関わりを通して、個々が成長できる環境を整えています。4月には入学式、3月には卒業式と出会いから旅立ちまでを教職員全員で、学生の未来をサポートして参ります。学生が学びたくなる学校として選ばれ続けるよう努力して参りますので、今後とも関係者の皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いたします。また、今年に入り新型コロナウイルス感染症拡大により学校行事が取りやめとなりましたが、早くに終息することを願っております。

森本 尚美

第109回 看護師国家試験合格率

国家試験合格率	
全国平均 (新卒者)	本校
94.7%	97.2%

